



週報

入間ロータリークラブ

2023-2024 RI 会長:ゴードン R. マッキンナリー RI2570 地区ガバナー高丹秀篤 会長:木下登 幹事:間野尚

24号 3321 回例会 2024年 2月 8日(木)

<お客様>

中部航空警戒管制団司令

入間基地司令 空将補 佐藤綱夫 様

2等空尉 菊池健斗 様

飯能ロータリークラブ 32名



代表 会長 馬場正春 様

飯能ロータリークラブ

60代会長を務めております。本日は大勢でお邪魔しまして歓迎頂きありがとうございます。飯能ロータリー

クラブ昭和39年に発足し、来年は60周年記念式典を行う予定です。21日のIMには力士もいらっしゃると聞いて楽しみにしています。

❀ 会長の時間 ❀ 木下登会長

本日は大変お忙しい中、入間基地指令 佐藤綱夫様に於かれましては、私共の講師例会での卓話をお願いしたところ、快くお引き受け頂き、感謝申し上げる次第でございます。

加えて、飯能ロータリークラブの大勢のメンバーの皆様にもご参加頂き、重ねて御礼申し上げます。

当クラブは、創立当時から、航空自衛隊入間基地との関わりは長く、毎年入間基地で行われています“ランウェイウォーク”は、入間ロータリークラブ第46代大野賢次会長が、ロータリー100周年記念事業と



して、平成17年4月23日『入間基地ランウェイウォーク 2005』を開催したのが最初でした。当時の活動としては、2,000mの滑走路を、航空機の離着陸を止めて、歩くということは、大変難しい事業だったと、記録に残っておりました。

基地の皆様そして、多くの関係者のご協力を頂いて、実現したことと思います。改めまして、感謝申し上げます。

本日の佐藤基地司令の卓話は、内容の濃いお話しとの事で、15分程度時間が長くなりますが、皆様宜しくお願い申し上げます。

<幹事報告>

間野尚幹事

飯能ロータリークラブの皆様、本日は大勢でのメークアップ誠にありがとうございます。



- ・2/10(土)第1グループ IM
- ・2/12(月)第16回ライラ「ロータリー青少年指導者養成プログラム」ウエスタ川越 後藤(賢)会員
- ・2/12(月)第5グループ IM
- ・2/16(金)公共イメージ委員会
ラ・ボアラクテ 18:00～白幡会員
- ・2/18(日)第2グループ IM
- ・2/18(日)会員増強セミナー 紫雲閣
登録 12:30～木下会長、吉田会員
- ・2/21(水)第3グループ IM
- ・2/23(金)2570地区会計承認会議
受付 13時～木下会長、間野幹事

- ・2/24(土)次年度地区研修セミナー
一柳会員、白幡会員、晝間会員、
後藤会員、水村 PG、忽滑谷会員

●委員長報告

[親睦活動委員会] 細田浩司委員長

親睦旅行に関して家庭集会を2/26 にナポリのかまどで 18 時より開催いたしますので、関係の方は出席お願い致します。3 月の第 1 例会は就活のためユジンさんは欠席となります宜しくお願いします。



[齋藤栄作ガバナー補佐]



基地司令官佐藤様、飯能ロータリークラブの皆様ようこそ入間クラブに来ていただきありがとうございます。今日が 2 月 21 日の IM 開催前の最後の例会となりました。ホストクラブとしてメンバーの皆様のご協力よろしくお願い致します。飯能ロータリークラブさんは 45 名の出席をお聞きしています。一人でも多くの方々が集まって素晴らしい IM を開催したいと思います。よろしくお願い致します。



＜佐藤網夫様 豊田会員よりご紹介＞

出身地 東京都
学 歴 防衛大学校第 35 期生
略 歴
平成 3 年 3 月入隊
平成 28 年 12 月 航空幕僚監部人事教育部
援護業務課長（市ヶ谷）
平成 30 年 8 月 航空開発実験集団司令部
幕僚長（府中）
令和 2 年 3 月 第 1 輸送航空隊司令兼ね
て小牧基地司令（小牧）
令和 3 年 9 月 統合幕僚監部 指揮通信
システム部長（市ヶ谷）
令和 5 年 8 月 現職
それでは司令宜しくお願い致します。

■■■講師 卓 話■■■ 「航空自衛隊と入間基地の概要」 空将補 佐藤網夫 様

①. 現在の安全保障環境の特徴

- (1) インド太平洋地域＝安全保障上の課題が多い地域

露は活発な軍事活動を継続
北朝鮮の核・ミサイル開発
中国による軍事力拡大



- (2) 各国はゲームチェンジャー（物事の流れや優劣を根底から覆し、パワーバランスを一変させるもの）となりうる先端技術を開発
- (3) 各国は軍事的優位を手にするため、宇宙・サイバー・電磁波領域における能力拡大を進めている

②. 我が国周辺の空の状況

(1) 緊急発進

- ・2022 年度の緊急発進回数は計 778 回（2013 年以降同水準）
- ・上記内訳は推定を含め 中国機約 7.4%、ロシア機 19%、その他 7%

中国、ロシアは活動範囲を拡大させ、頻度も増加している

(2) 北朝鮮

- ・弾道ミサイルは従来の発射台付き車両（TEL）以外に、鉄道、潜水艦等、様々なプラットフォームを用いて奇襲・秘匿性を向上
- ・低高度を変則的な軌心で飛翔するミサイルを開発している可能性も指摘

(3) 中国

- ・国防費を高い水準で増加（日本の約 5 倍以上）加えて公表している額は実際に支出しているものの一部に過ぎないと指摘
- ・尖閣諸島周辺のほか、日本海、太平洋における活動の定例化を企図しているとみられる

海空戦力による活動は範囲や頻度が拡大

2023 年 4 月には中国空母「山東」が西太平洋へ進出、過去最多の約 620 回発着艦を確認

- ・台湾周辺における威圧的な軍事活動も活発化→2022 年ペロシ米下院議長訪台後、台湾周辺を取り囲むように大規模軍事演習を実施、9 発の弾道ミサイルを発射（内 5 発は我が国 EEZ 内に落下）
- ・南シナ海における中国の活発な海洋進出

<出席報告>

駒形一人委員

会員数	出席数	出席率	前回修正率
39 名	31 名	83.0%	-----

事前欠席連絡 5 名

<ニコニコBOX> 白幡英悟 SAA

☀ 入間基地司令佐藤様ようこそ本日の卓話宜しくお願い致します。飯能ロータリークラブの皆様ようこそ入間クラブへ
「木下登君、間野尚君、宮崎正文君、白幡英悟君、齋藤栄作君、豊田義継君、吉沢誠十君、忽滑谷明君、関谷永久君、晝間和弘君、一柳達朗君、細田浩司君、後藤健君、菅野茂実君、津藤淳也君」

☀ 早退いたします。「友野政彦君」

本日¥15,000

累計¥878,000



■ 回覧、配布物

- ① ガバナー月信 2 月号
- ② 3/16 イルミン祭り de チャリティバザー
- ③ ロータリー手帳申し込み
- ④ IM ご案内&出欠表
- ⑤ 入間南 RC 合同例会・ゴルフのご案内
- ⑥ フードバンクいるま寄贈品受領書
- ⑦ 入間クラブ週報 22.23 号



発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町 1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店 6 F パンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12：30～13：30 ■会報委員長：繁田光



- ・1980 年代より南沙諸島への進出と実効支配を開始、2014 年以降は大規模埋立とインフラ整備を実施

(4) ロシア

- ・核戦力を含む各種装備の近代化を推進
- ・北方領土、千島列島およびオホーツク海における軍備も強化し、活発な軍事活動を継続
- ・択捉島への Su35 戦闘機の配備
- ・択捉島及び国後島への地対空ミサイルシステム「S-300V4」の実践配備
- ・2022 年 2 月には宗谷海峡を通過し、ロシア海軍艦隊がオホーツク海で活動
- ・中国軍と共同した軍事活動（爆撃機共同飛行及び艦艇共同航行）等協力関係を進展

③. 国家安全保障戦略・国家防衛戦略・防衛力整備計画

(1) 策定の背景

- ・我が国は戦後最も厳しく、複雑な安全保障に直面
- ・周辺国の急速な軍備増強
- ・力による一方的な現状変更の圧力高まり
- ・対立、競争と協力の様相が複雑に絡み合う時代

(2) 3 文書概要

✿マーク国家安全保障戦略✿

外交・防衛分野にとどまらない広範な我が国の安全保障に関連する分野の諸政策に戦略的な指針を与えるもの

✿国家防衛戦略✿

我が国防衛の目標及びこれを達成するための方法・手段といった基本方針を明示

✿防衛力整備計画✿

保有すべき防衛力の水準を記述

- ①概ね 10 年後の体制②5 カ年の経費総額
- ・主要装備品の整備数量



今後の防衛力は相手の「能力と戦い方」に注目し、我が国を防衛する能力をこれまで以上に抜本的に強化

※「能力と戦い方」に注目→「基盤的防衛力構想」とは大きく異なる考え方

④. 我が国の国家安全保障戦略・防衛の基本方針

- (1) 外交、防衛、経済、技術、情報等の総合的な国力を有機的・効率的に用いて国益を確保する為の戦略的なアプローチを推進
- (2) 3 つの防衛目標を達成するため、3 つのアプローチと手段により、国民の命と平和

な暮らし、我が国の領土・領海・領空を守り抜く

✿3 つの防衛目標✿

- ・力による一方的な現状変更を許容しない安全保障環境を創出
- ・力による一方的な現状変更やその試みを同盟国・同志国と協力し抑止・対処して早期に事態を収拾
- ・我が国への侵攻が生起した場合、我が国が責任をもってこれを対処、同盟国等の支援を受けつつ、これを阻止・排除

✿3 つのアプローチ✿

- ・我が国自身の防衛体制の強化
- ・日米同盟の抑止力と対処力の強化
- ・同志国等の連携を強化

(3) 3 つのアプローチの例

- ・我が国の防衛体制の強化→スタンドオフ防衛能力の構築
- ・日米同盟の抑止力と対処力の強化→情報収集、警戒監視、偵察(ISR)活動協力
- ・同志国等との連携を強化→独、印、豪等様々な国との共同訓練

⑤. 入間基地の概要

(1) 基地の沿革

- ・昭和 13 年に旧陸軍航空士官学校が開設、戦後は米軍が進駐し「ジョンソン基地」へ改称される
- ・昭和 27 年 7 月、航空自衛隊が発足され、昭和 33 年 8 月には空自の中部航空方面隊司令部を設置、入間基地が発足される。
- ・しばらくの間、日米共同使用が続くが、昭和 59 年 9 月にジョンソン基地が日本側へ全面返還され、現在の形となる。
- ・平成 24 年、旧陸軍航空士官学校跡地に航空歴史資料館「修武台記念館」を開設し、旧陸海軍の航空関係、空自に関する資料を展示している。

(2) 入間基地の概要

- ・基地面積は約 3 2 0 万 m²（人間市面積の約 7 %、狭山市面積の約 6.5%、飯能市面積の約 1.6%）、滑走路は全長 2,000m
- ・隊員数は約 4500 人であり、空自の基地で最も多い隊員数を誇る。

⑥. 能登半島地震における災害派遣

- (1) 発災当初より輪島分屯基地への避難者受け入れをはじめ、迅速に災害派遣活動を実施
- (2) 救助犬・ドローンを活用した捜索救助活動、物資輸送、給食給水支援、慰問演奏等を実施